かめ通

kameya sangyo tsu-shin Vol.35

2026.11.21

発行
かめや産業株式会社
広島市西区井口
4-15-1
亀本みほ
082-277-1080



みなさまこんにちは。私はこの新聞の記者兼編集長、かめや産業株式会社の亀本みほです。今、この新聞を読んでいるあなたは、当社と何かしらご縁のある方です。ニュースや取材して欲しいことがあれば是非、当社に教えてください。TEL:082-277-1080(亀本)よろしくお願いします。

■棚卸だヨー!社員全員集合



さて、かめや産業では11月、半期に一度の棚卸を行います。当社にとっては、なかなかの一大イベントです。

業種柄、扱う商品数も多く、根気のいる作業ではありますが、棚卸には、**帳簿と実際の在庫数のズレを確認する、正しい利益を計算する、**といった目的があり、大切な業務です。

読者のみなさまも棚卸をされていますか？ 会社によって棚卸のやり方もそれぞれでしょうね。

当社のやり方をざっくり説明すると、

① 倉庫にある商品をひとつひとつ数える。
② 2人1組になり、商品ごとのリストに数量を記入していく。
③ 在庫管理ソフトに入力して集計する。

といった流れです。

文章にするとたった3項目の業務ですが、これがなかなかすぐには終わりません。

なにせ商品数が多い…。そして、この時期の倉庫は寒い…。

ダボのような細かい商品や、量の多い商品は、数えているうちに分からなくなって、また最初から数え直し!なんてこともあります。

昔、大量のスライド丁番を数えている会長に話しかけてしまい、「数えとるときに話しかけたらいけんよ!」と怒られた思い出があります。今思えば、そりゃそうですよね(笑)。

なるべく効率よく、正確にできるように。そして回数を重ねることに、以前より早く、楽に終わるようにと、工夫を重ねております。

例えば、まとまりごとに数えやすいように、キリの良い数量ずつに分けておいたり、回転の悪い商品は箱に数量を書いて封をしておいたり。数を測れるスケールなども活用しながら、せっせと取り組んでおります。

手順やルールを明確にし、全社員で共有しておくことも大切ですね。

最近はアプリを活用して棚卸を簡単に済ませる方法もあるのだとか！ もし、そのやり方を採用されている会社さんがありましたら、どれくらいすぐ終わるのかお話を聞いてみたいです。

■棚卸で掘り出し物発見！



昔のアニメなどで見かける、棒カギで開けるタイプのドアノブ。お家に付けてみたい方、いませんか？ レトロでとてもかわいいですね！ こんなドアノブが付いているお家、ちょっと憧れます。

